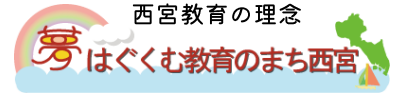


西宮方式による児童生徒の見まもり

# こころん・サーモ

西宮市教育委員会  
武庫川女子大学（子ども発達科学研究センター）



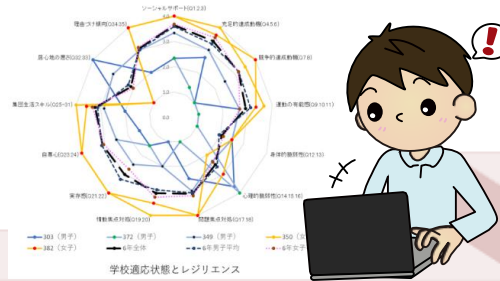
## 目的

一人ひとりの子供のこころの状態を把握し、学校生活を支援する。



## 入力

- 教育系（GIGA）端末にて入力。答えるとパーマークに変わる。
- 個人情報扱うセキュアなネットワーク内で管理している。
- アンケート画面に、「答えたくない場合は答えなくてよい」というメッセージを示している。



## わかること

- 12の指標（※）を用いて、こころの状態が把握できる。
- それによって傷ついた状態からの回復力（レジリエンス）が推定できる。
- 教員が子供との交流を試みる時の有効なチャンネルがわかる。



## 期待される効果

- 子供の学校不適應への予防的な対応
- エビデンス（データ）にもとづく子供理解
- 定点観測による、シームレスな子供理解（教員の異動や子供の転出転入による情報のとぎれがなくなる）
- 必要なその時にオンデマンドで子供の状態がわかる
- 教員の子供への指導における負担軽減と質の向上

何よりもきめ細やかな子供一人ひとりの理解につながる

12の指標※ ソーシャルサポート 充足的達成動機 競争的達成動機 問題焦点対処  
情動焦点対処 実存感 集団生活スキル 自尊心 心理的強靱性  
身体的強靱性 運動の有能感 理由づけ傾向

本事業は西宮市教育委員会と武庫川女子大学との共同研究事業として実施している。